



# 子供たちが 誇れる魅力ある 長沼を めざして



## 舞鶴遊水地を活かしたまちづくりの可能性

地方の衰退が進む中、生き残りをかけ、全国の自治体が地域の個性や魅力を模索しています。

こうした中、洪水との戦いを繰り返してきた長沼では、今年200ヘクタールの広さの舞鶴遊水地が完成し、安全・安心な暮らしのインフラが増えました。そして同時に、タンチョウとの共生という新たな可能性も生まれました。

長沼の空に鶴が舞う風景を取り戻す。それは、豊かな自然の再生や治水施設の活用にとどまらず、地域の農業や観光の振興、そして何より、子供たちが誇ることができるようまちづくりになります。誰もが心惹かれる、子供たち自慢のまちの実現を目指し本シンポジウムを開催します。



2015年11月1日 [日] 13:00~15:40 (開場12:30)

|会場| 長沼町総合保健福祉センター りふれ |参加費| 無料



# 子供たちが誇れる魅力ある長沼をめざして

## プログラム

13:00 開会 [12:30開場]

13:10 基調講演  
「コウノトリと共に生きる～豊岡の挑戦～」  
兵庫県豊岡市長 中貝宗治氏

一度は姿を消したコウノトリを約半世紀にもわたる長い時間を経て、再び自然界にはばたかせた豊岡。コウノトリとの共生を通じ変わっていった市民、行政、そして地域についてお話いただきます。

14:10 休憩

ロビーでは北海道博物館で今年の6～8月に開催された企画テーマ展「鶴」の展示物の一部や、8月29日に開催された「新しくできた舞鶴遊水地に行こう!」に参加した南長沼地区児童の絵日記や感想文を掲示しますので、お楽しみください。

14:30 パネルディスカッション  
「舞鶴遊水地にタンチョウを」

タンチョウをシンボルとした長沼のありかたについて、会場からの質問も交え、皆で一緒に考える機会です。

コーディネーター  
(公財)日本生態系協会 事務局長 関健志

パネラー  
豊岡市長 中貝宗治氏  
長沼町長 戸川雅光氏  
舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会 会長 柏敏春

15:40 閉会

## 会場



長沼町総合保健福祉センター りふれ  
北海道夕張郡長沼町南町2丁目3番1号  
Tel.0123-82-5555



[後援] 環境省北海道地方環境事務所、生活協同組合コープさっぽろ、長沼アート協会、長沼町、長沼町観光協会、長沼町教育委員会、長沼町商工会、長沼町商工会青年部、ながぬま土地改良区、ながぬま農業協同組合女性部、ながぬま農業協同組合青年部、北海道、北海道環境財団、北海道新聞社、マイオネットワーク広場、南空知農業共済組合、酪農学園大学 (50音順)

## 参加申込

申込み締切 **10月30日[金]** 長沼町在住の方はお申し込み不要です

必要事項を記入のうえ、FAX、郵便、Eメールでお申し込みください。個人情報、当協会のプライバシーポリシーに従って取り扱います

ふりがな  
氏名

所属機関  
機関 / 会社名・部課名・役職等

住所 勤務先・自宅 (○で囲んでください)

〒

連絡先 電話・FAX・Eメール (○で囲んでください)

問合せ  
申込先

(公財)日本生態系協会 長沼町シンポジウム係 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル  
TEL: 03-5951-0244 FAX: 03-5951-2974 E-mail: 2015naganuma@ecosys.or.jp